

2019年3月18日  
関西ペイント株式会社  
関西ペイント販売株式会社

**【訂正】プレスリリースの訂正とお詫び**

2019年3月15日付で配信いたしました弊社プレスリリース  
「ハイドロ銀チタン®配合 水性内装用塗料『ハイドロフレッシュ』発売開始」におきまして、  
以下の通り誤りがございました。  
皆様には大変ご迷惑をお掛けし、深くお詫びいたしますとともに、謹んで訂正させていただきます。

## — 記 —

## 1. 対象プレスリリース

2019年3月15日（金）発表

「ハイドロ銀チタン®配合 水性内装用塗料『ハイドロフレッシュ』発売開始」

## 2. 訂正内容

以下下線部につき訂正いたします。

「 □製品概要 」内

（正）

（誤）

希望小売価格 12,000円 / 4kg

希望小売価格 12,000円 / kg

以 上

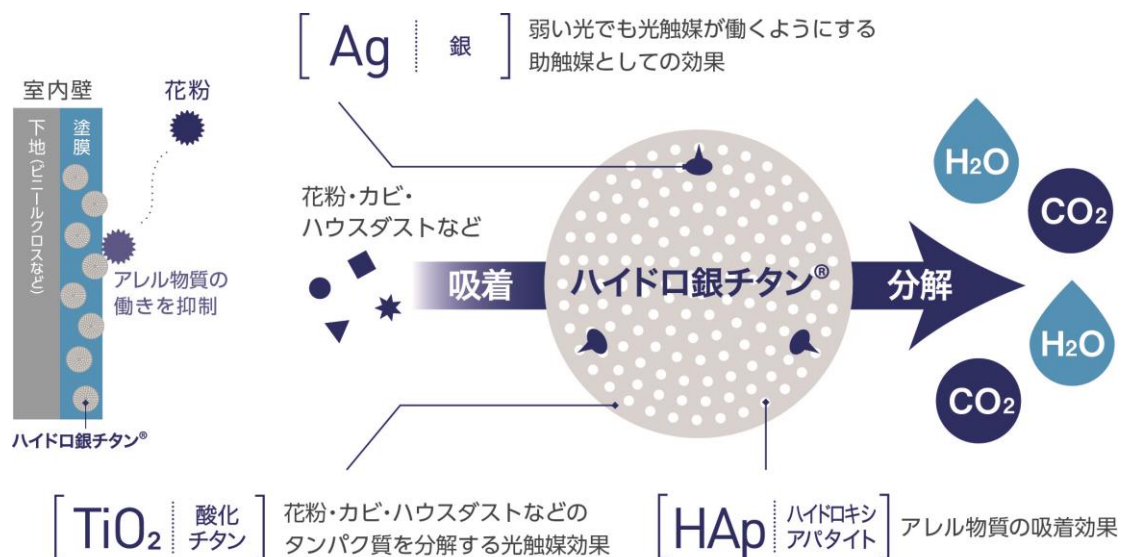
ハイドロ銀チタン®配合 水性内装用塗料  
 「ハイドロフレッシュ」発売開始

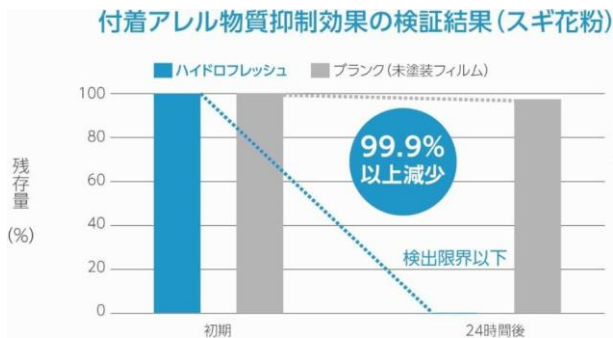
関西ペイント株式会社（本社：大阪市、石野 博 社長 CEO）ならびに関西ペイント販売株式会社（本社：東京都、毛利 訓士 社長）は、このたび、塗料業界で初めて「ハイドロ銀チタン®」を配合した水性内装用塗料「ハイドロフレッシュ」を開発、販売を開始しますのでお知らせいたします。

関西ペイントグループは、これまで塗料で新たな付加価値を提案する『快適生活提案塗料シリーズ』として、消臭、抗菌・抗ウイルス機能などを持つ漆喰塗料「アレスシックイ」や生活空間の虫除けに寄与する「アレスムシヨケクリーン」などを上市、販売して参りましたが、それらに続く新製品として、居住スペースなどの室内空間において発生するハウスダストや、この時期に悩まされる花粉などに含まれるアレル物質対策が期待される商品の位置づけで、「ハイドロフレッシュ」を広く販売してまいります。

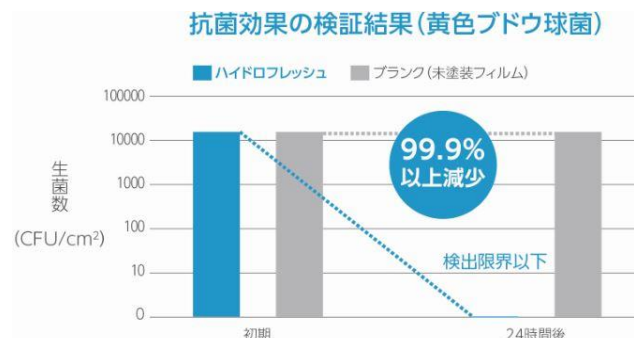
□「ハイドロフレッシュ」の特長

1. 塗膜表層に「ハイドロ銀チタン®」を担持させる事により、塗装壁面に付着した花粉やダニ抗原などのアレル物質（タンパク質）が分解されます。  
 また、その効果は一般的な室内環境で約 10 年持続します。（当社推定）
2. わずかな白色濁りのある透明塗料で、壁紙の上から 1 回塗りで簡単に刷毛・ローラーで塗装できます。





【試験方法】ELISA法 (酵素免疫測定法)。種を滴下した後、スギ花粉アレルゲンを溶かした溶液に試験片を入れ、24時間後の残存量を測定。  
【試験機関】ITEA株式会社 東京環境アレルギー研究所



【試験方法】JIS Z 2801(フィルム密着法)。試験片の表面に試験菌フィルムを被せて密着し、24時間培養後の生菌数を測定。  
【試験機関】一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター

□適用用途

マンション、戸建、教育施設・病院などの建物内部壁面

□推奨部位

- 1) 花粉などが入り込みやすい玄関や廊下の壁
- 2) 開口部の大きいリビング・ダイニング壁
- 3) 快適な就寝を求める寝室内壁
- 4) 健やかな成長を育むための子供部屋内壁
- 5) 集合施設など、多くの人が集まる共用スペースの壁

□発売開始 2019年4月1日

□製品概要 「ハイドロフレッシュ」 容量 4kg (1缶あたり約80~100㎡塗装可能)  
希望小売価格 12,000円 / 4kg

□「ハイドロ銀チタン®」は、花粉やハウスダスト、カビなどのタンパク質、汗やニオイなどの不衛生タンパク質を分解する触媒物質です。 DR.C 医薬株式会社のクリーン技術です。

□DR.C 医薬株式会社

代表取締役 : 岡崎成実

本社 : 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー2階

事業内容: 医薬品・動物用薬品・試薬・医療部外品の製造、輸出入、販売 等

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

関西ペイント販売株式会社 建築塗料販売本部 営業部 笹川 昌嗣

TEL: 03-5711-8904 FAX: 03-5711-8934



F★★★★  
ホルムアルデヒド登録認定商品

# HydroFresh

ハイドロ銀チタン<sup>®</sup>配合水性内装用塗料

## ハイドロフレッシュ



D.R.C 医薬

関西ペイント販売株式会社  関西ペイントホームページ  
[www.kansai.co.jp](http://www.kansai.co.jp)

北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757	東京 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935	中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073	中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981	四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
北関東圏 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223	大阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603	九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(19年03月01日PKO) カタログNo.853



ハイドロ銀チタン<sup>®</sup>

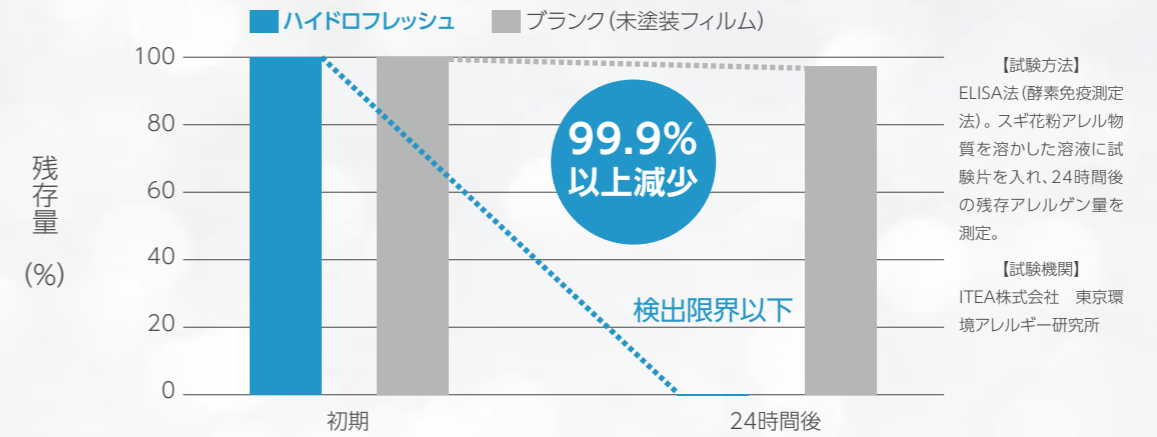
関西ペイント × D.R.C 医薬

## 医師の発想から生まれた

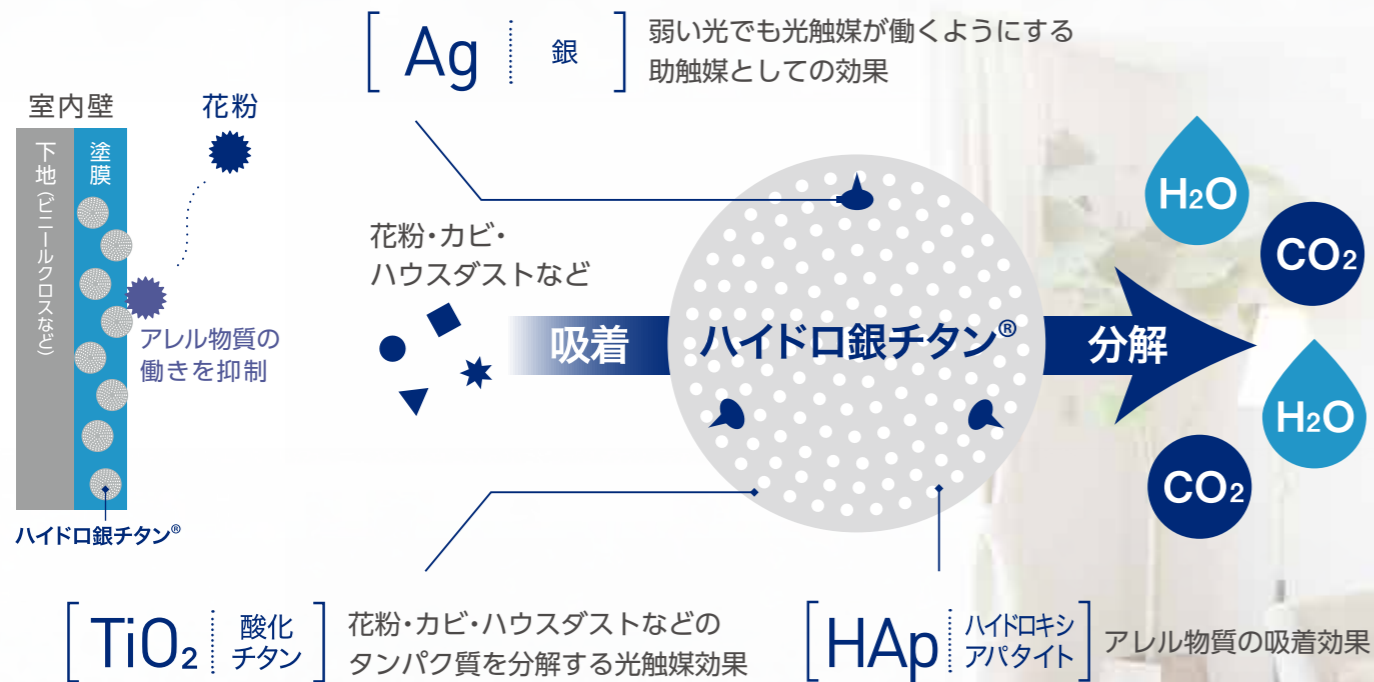
ハイドロ銀チタン®Hyd[AgTiO<sub>2</sub>]は、  
花粉/ハウスダスト/カビなどのタンパク質や、  
汗/ニオイ/などの不衛生タンパク質を  
分解する触媒物質です。

DR.C医薬のクリーン技術です。

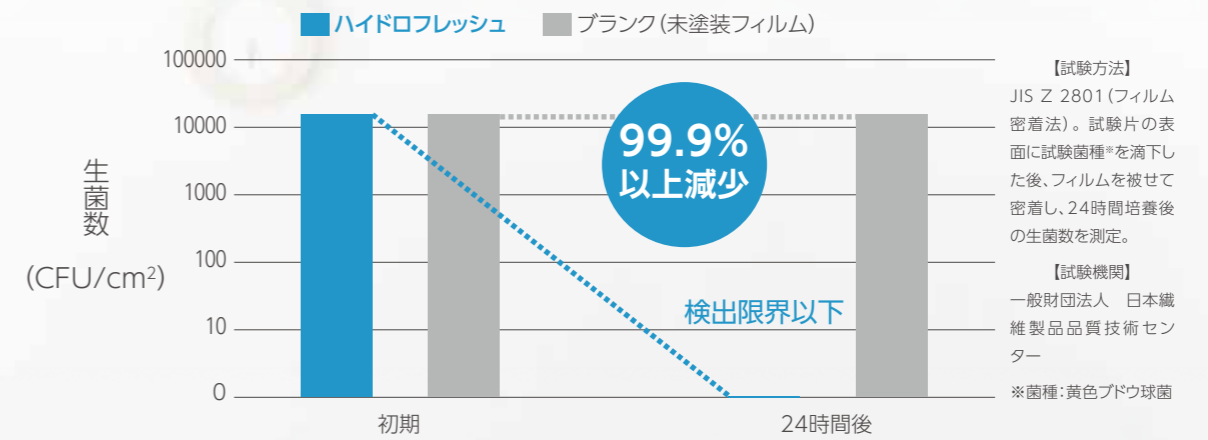
## 付着アレル物質抑制効果の検証結果(スギ花粉)



【アレル物質】ダニの糞などのハウスダストやスギ花粉などに含まれるタンパク質。



## 抗菌効果の検証結果(黄色ブドウ球菌)



菌を35℃環境下で培養した後の写真



※タンパク質の種類・量によっては分解できないものもあり、使用環境によって機能は変化いたします。  
※水分子レベルで変化するので、本機能により製品が湿ることはありません。

※本製品は、医療品や医療機器などの医療を目的としたものではありません。また、本製品は表面に接触したアレル物質(ダニの糞、スギ花粉に含まれるアレル物質)の動きを抑制するものであり、空気中のアレル物質を収集・抑制する効果はなく、感染予防を保証するものではありません。  
※これらの機能は、ご使用される環境により効果が異なる場合があります。

花粉・ハウスダスト・カビ・などの  
タンパク質を分解する  
ハイドロ銀チタン<sup>®</sup>が塗料と融合



**Hyd[AgTiO<sub>2</sub>]**  
ハイドロ銀チタン<sup>®</sup>



# HydroFresh

**用途** マンション・戸建・教育施設・病院などの建物内部壁面

**適用下地面** 塗装適性を有するビニールクロス面（濃色系を除く）、水性ゾラコートIN（多彩模様）などのパターン模様のついた塗装仕上げ面

**容量・荷姿** 4kg（1缶あたり約80～100㎡塗装可能）



## 標準塗装仕様

工程	塗料・処置	塗回数	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装方法
素地調整・養生	ごみ、油脂などの付着物をウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
上塗	ハイドロフレッシュ	1	0.04～0.06	無希釈	ハケ・ローラー*

\*推奨ローラー：大塚刷毛エクセレントローラースモール

**素地調整 養生**

- 1) 手あかや鉛筆などの汚れは、消しゴムなどを用いて除去する。
- 2) はがれかけのビニールクロスは接着剤で補修する。
- 3) クレヨンや油汚れなどは、塗料用シンナー又はペイントうすめ液を染み込ませた布で拭き取る。中性洗剤を使った場合、必ず固く絞った布で水拭きする。
- 4) 巾木、額縁など塗装しない部分をマスキングなどで養生する。

**上塗**

※作業中、乾燥中は換気（エアコン、開窓、送風機など）する。

- 1) 塗料のフタを開けて棒などでよく攪拌する（容器を揺るだけでは不十分）。また本塗料は希釈しないで使用する。
- 2) ハケで入隅、出隅を先行塗りする。
- 3) 受け皿に塗料を適量移し、ローラー（大塚刷毛エクセレント6mm）によく含ませた後、ゆっくり転がしながら丘部分の凹凸で量を調整し、全体によくなじませる。最初は、Wの字を書くような感じでゆっくりとローラーを転がしながら塗料を配るように塗り始め、さらにその上から塗料が均一になるように仕上げ塗りを行う。
- 4) 本品は透明塗料のため、塗り付け状態の確認が難しい。ななめからすかし見するなど、よく確認しながら作業をすすめる。

**乾燥** 塗装後も換気をできるだけ継続し、2時間（23℃）以上乾燥させる。

## 施工上の注意事項

- 本品はわずかに白色濁りのある透明塗料のため、パターンのついてない平滑な塗装仕上げ面や濃色系のビニールクロス面などへの塗装後には、元色感に変化が生じたり、補修箇所の艶が高くなるなどのムラが生じる場合がありますのでご注意ください。
- 本品は2～3分つや相当（クロス値15前後）ですが、被塗面の状況により塗装前後で艶などの仕上り感が若干の変化が生じる場合があります。なるべく部分塗装や避け、面単位の施工を推奨いたします。
- 本品は無希釈で所定の所要量で塗り付けてください。
- 本品塗装後、1週間程度は洗剤等を用いた清掃は避けてください。（軽く水拭き程度は支障ありません。）
- 本品を塗装した面を強く擦ると粉化物が付着する場合がありますのでご注意ください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けてください。
- 被塗面に付着した汚れ、油分、藻、カビ等は必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- やりに著しく付着している場合は、ウエスなどでやりに水拭きして除去し被塗面を十分に乾燥させてから塗装してください。
- 塩化ビニールクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧

- 着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 布クロス、紙クロスや汚染防止のクロス（シリコン加工され水をかけると著しくはじくクロス）には塗装できません。
- ローラー、ハケなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。
- 開封後、保管する場合は密栓してから必ず冷暗所で保存してください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

## ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

**取り扱い作業中**・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。

火気避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。

火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。

裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。

缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場

合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。

例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。